

●調査目的

東員町の人口減少や少子高齢化は年々進行しており、高齢化率（65 歳以上人口の総人口に対する割合）は、現行の 21%が平成 32 年には 30%を超えると推計されています。そのため、自動車の運転に不安を感じる方や運転免許証を持たない方が、今後増加すると予想されます。このような変化に対応し、住民の方々が安心して生活できるようにするには、町内、町外への移動に公共交通サービスを利用することが必要であると考えています。

住民ニーズに対応した公共交通サービスを提供できるよう公共交通体系の見直しを検討するにあたって、住民の方々に路線バス、オレンジバスの利用実態や意見についてうかがうことで、今後の計画づくりに反映していくことを本調査の目的としています。

●調査概要

調査期間	平成 24 年 10 月 5 日（金）～10 月 20 日（土）
調査対象	東員町在住の 15 歳以上の男女 2,500 名（無作為抽出）
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	2,500 票
回収数【回収率】	1,450 票【58.0%】
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ご自身について ・外出時について ・町内を運行しているバスの利用状況について ・オレンジバスの継続について ・デマンド交通について ・自由意見

●グラフの見方について

- ①集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、回答比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ②複数回答形式の設問の場合、回答比率の合計が 100.0%を超えることがあります。
- ③グラフ及び表中の「N」とは Number of case の略であり、集計対象者の総数を表しています。
- ④クロス集計では、表側の設問に無回答だった票を除いています。

ご自身について

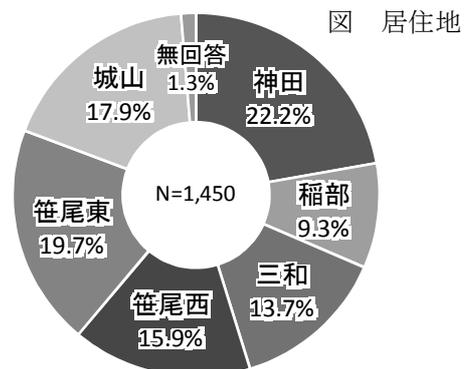
問1. (1) お住まいは

各地区の人口割合と比較すると、「三和」、「笹尾西」、「笹尾東」地区が多くなっています。

〈参考〉地区別人口割合(※15歳未満を含む)

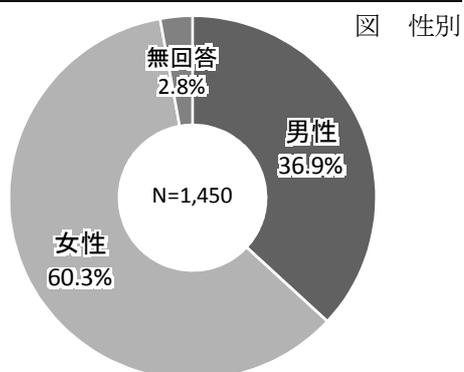
地区	神田	稲部	三和	笹尾西	笹尾東	城山	合計
人口(人)	6,099	2,959	3,305	3,665	4,472	4,818	25,318
割合	24.1%	11.7%	13.1%	14.5%	17.7%	19.0%	

平成 24年7月



問1. (2) 性別は

「女性」が「男性」の1.5倍以上となっています。



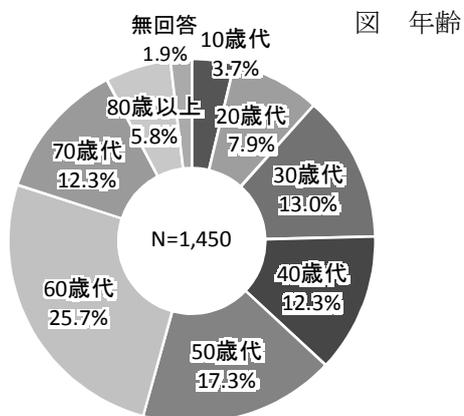
問1. (3) 年齢は

年代別の人口割合と比較すると、「60歳代」、「70歳代」が多くなっています。

〈参考〉年代別人口割合(※15歳未満を含まない)

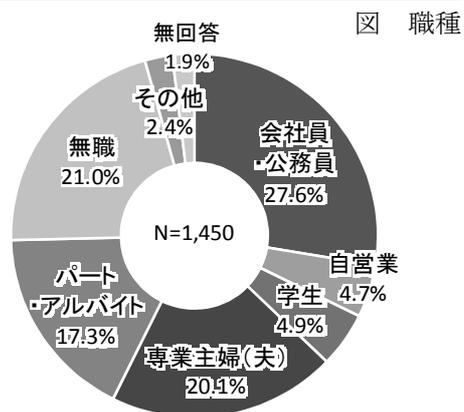
年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
人口(人)	1,157	2,860	3,380	2,927	4,002	4,410	2,138	1,361	22,235
割合	5.2%	12.9%	15.2%	13.2%	18.0%	19.8%	9.6%	6.1%	

平成 22年 10月



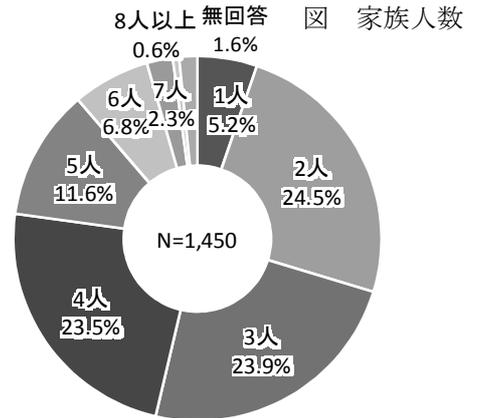
問1. (4) 職種は

「会社員・公務員」が最も多く、次いで「無職」、「専業主婦(夫)」が多くなっています。



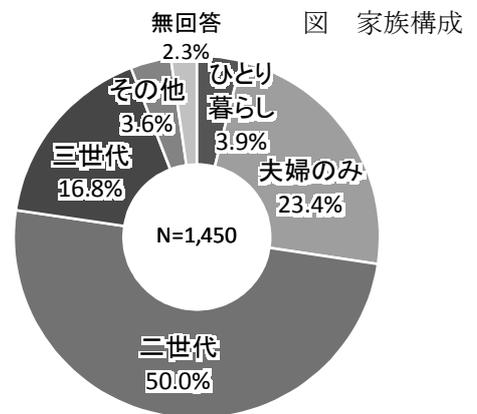
問1. (5) 同居されているご家族の人数は

「2人」が最も多く、次いで「3人」、「4人」が多くなっています。



問1. (6) 同居されている家族構成は

「二世世代」が最も多く 50%を占め、次いで「夫婦のみ」、「三世代」が多くなっています。

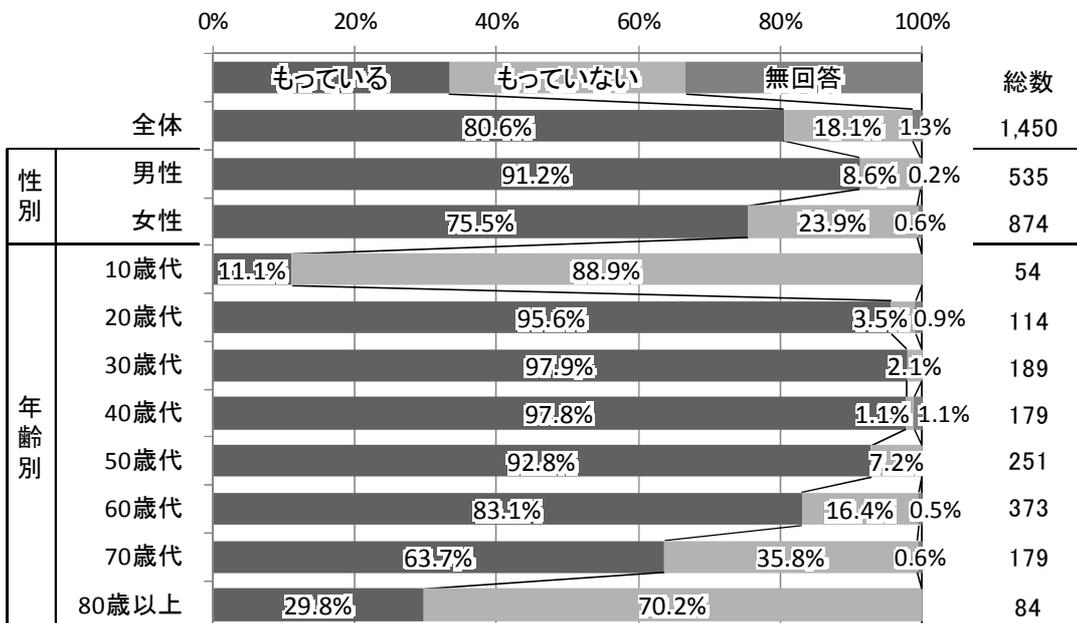


問1. (7) 自動車運転免許証はお持ちですか

「もっていない」人が約 18%となっており、性別をみると、男性の 90%以上が「もっている」と回答していますが、女性は約 24%がもっていないと回答しています。

年齢別にみると、70歳代以上の女性の「もっていない」割合が多くなっています。

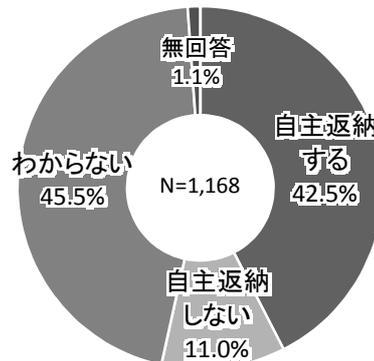
図 運転免許証の保有 (性別、年齢別)



問1. (8) (7)で「もっている」と回答された方にお聞きします。
 運転に不安を感じるようになった場合、運転免許証を自主返納しますか

図 運転免許証の自主返納についての意向

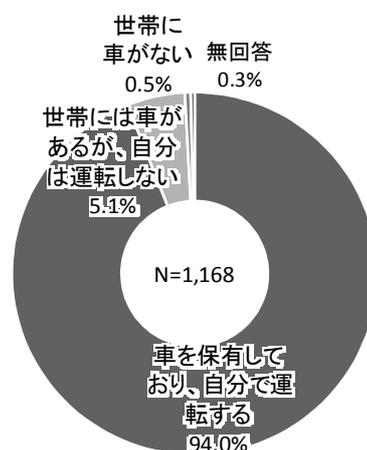
「自主返納する」が約43%となっています。



問1. (9) (7)で「もっている」と回答された方にお聞きします。
 お車を運転しますか

図 自動車の運転

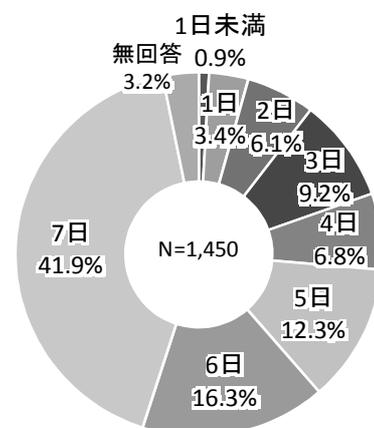
「車を保有しており、自分で運転する」が最も多く、約95%を占めています。運転をしない人は、合わせて5.6%となっています。



問1. (10) 1週間に何日程度外出しますか

図 1週間の外出日数

「7日」が最も多く、次いで「6日」、「5日」が多くなっています。



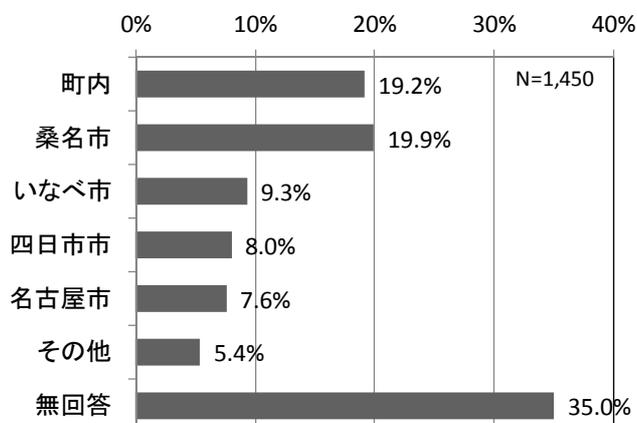
外出時について

問2. 1～2週間に1回程度以上外出されるときについて、外出目的ごとにお答えください。

(1-1)【通勤あるいは通学】行き先 〈複数回答〉

「桑名市」が最も多く、次いで「町内」、「いなべ市」が多くなっています。

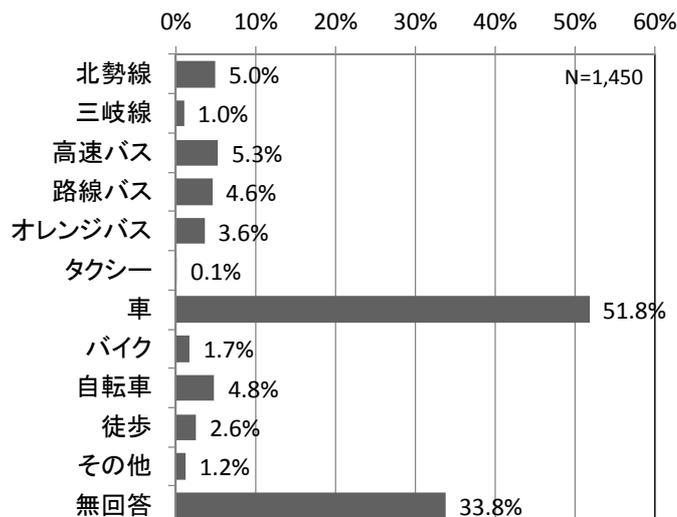
図 行き先【通勤あるいは通学】



問2. (1-2)【通勤あるいは通学】利用する交通手段 〈複数回答〉

「車」が最も多く、50%以上を占めています。次いで「高速バス」、「北勢線」が多くなっていますが、「車」以外はほとんどが5%以下となっています。

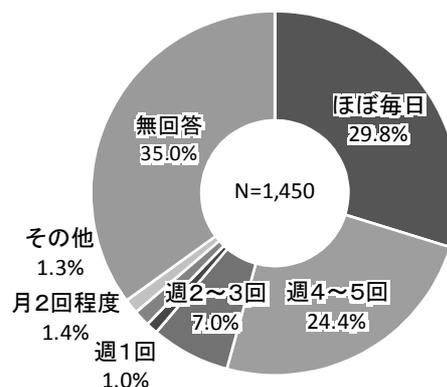
図 交通手段【通勤あるいは通学】



問2. (1-3)【通勤あるいは通学】利用頻度

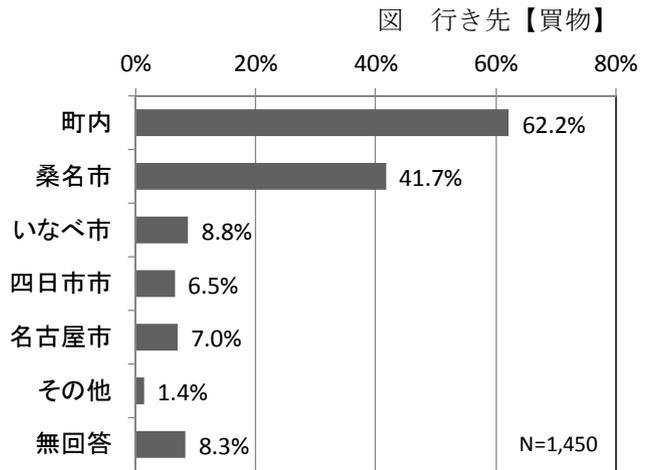
「ほぼ毎日」が最も多く、次いで「週4～5回」が多くなっています。

図 利用頻度【通勤あるいは通学】



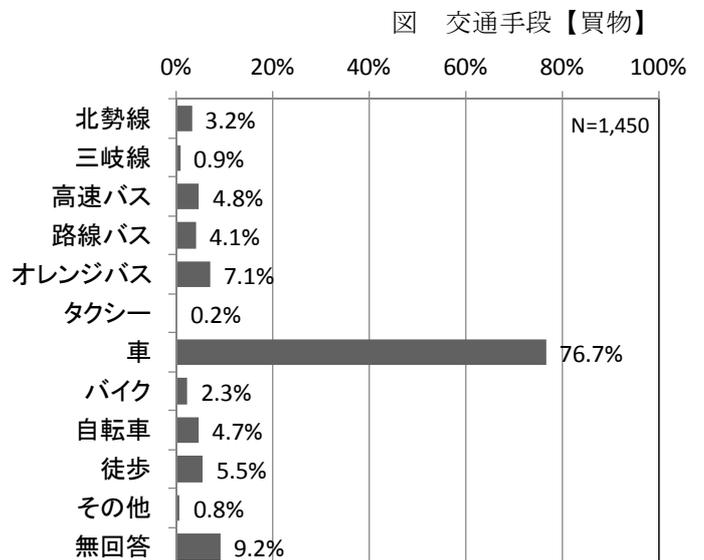
問2. (2-1) 【買物】行き先 〈複数回答〉

「町内」が最も多く、60%以上を占めています。
次いで「桑名市」が多くなっています。



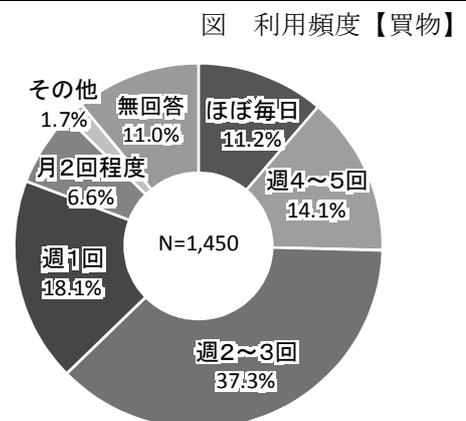
問2. (2-2) 【買物】利用する交通手段 〈複数回答〉

「車」が最も多く、75%以上を占めています。
次いで「オレンジバス」、「徒歩」が多くなっています。



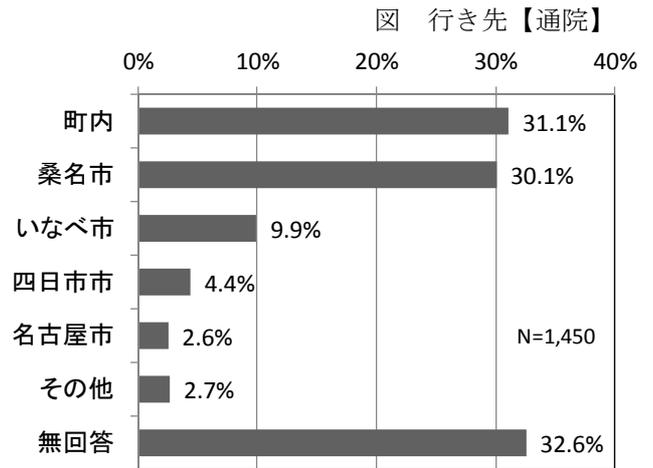
問2. (2-3) 【買物】利用頻度

「週2～3回」が最も多く、次いで「週1回」が多くなっています。



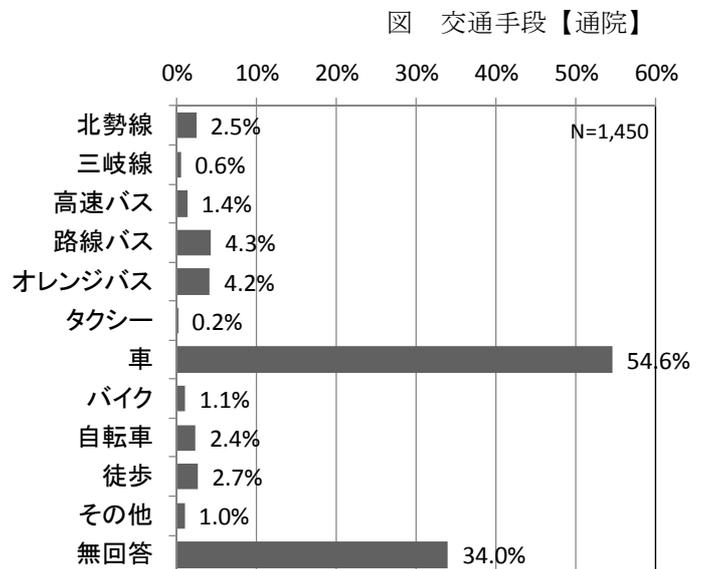
問2. (3-1) 【通院】行き先 〈複数回答〉

「町内」が最も多く、次いでほぼ同数で「桑名市」が多くなっています。



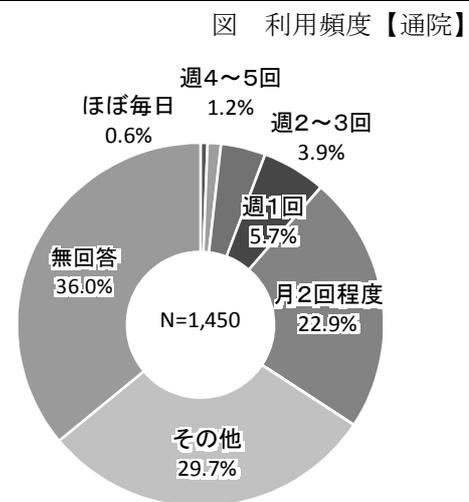
問2. (3-2) 【通院】利用する交通手段 〈複数回答〉

「車」が最も多く、約55%を占めています。次いで「高速バス」、「オレンジバス」が多くなっていますが、「車」以外は全て5%以下となっています。



問2. (3-3) 【通院】利用頻度

「月2回程度」が最も多く、次いで「週1回」が多くなっています。



問3. 外出したい時に、鉄道、路線バス、オレンジバスが利用できないあるいは不便なので困ることがありますか。

「困ることはほとんどない」が最も多く、65%以上を占めています。次いで「困ることがたまにある」が多くなっており、「困ることがよくある」と合わせると、約22%が困ることがあると回答しています。

地区別の差はあまりみられません。

図 不便で困るものの有無

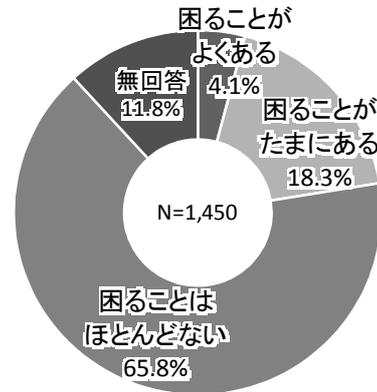
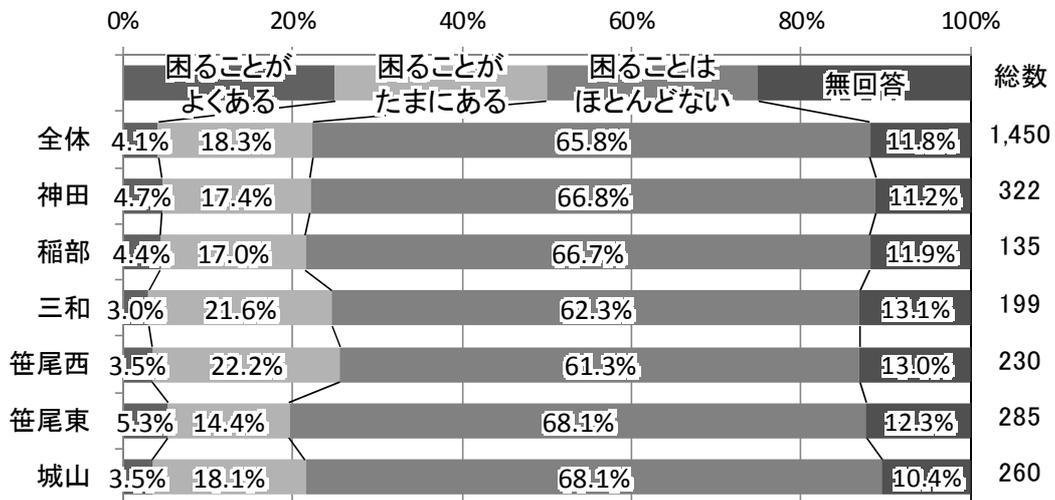


図 不便で困るものの有無（地区別）

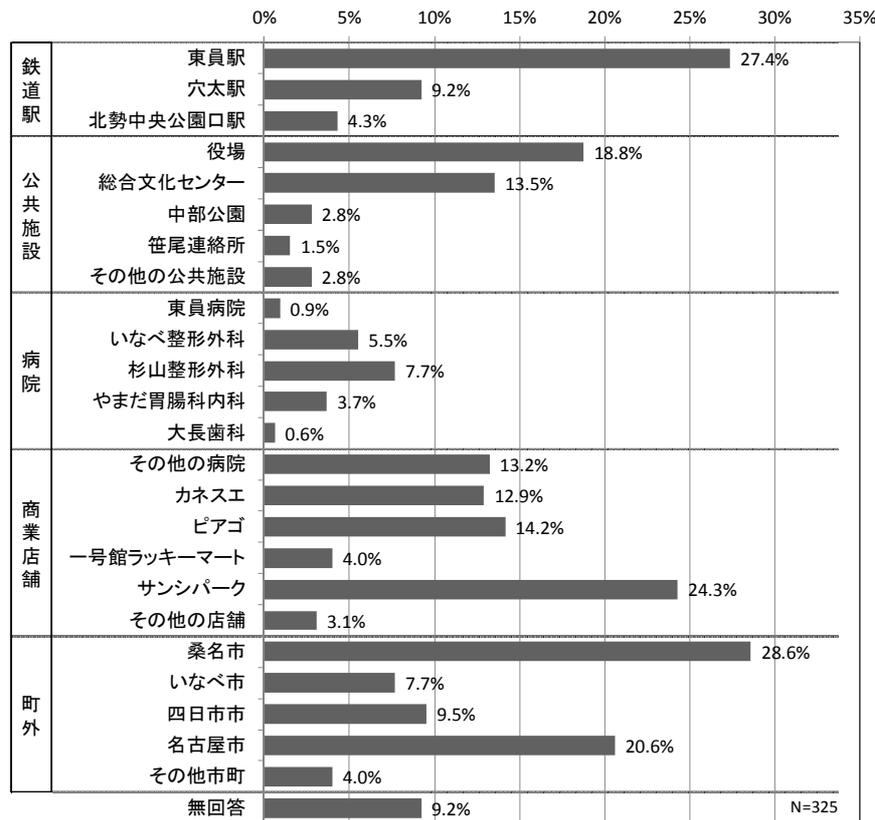


問3. 付問(1) 問3で「困ることがよくある」、「困ることがたまにある」と回答された方にお聞きします。
どこに行かれるときに困りますか。 〈複数回答〉

全体的にみると、「桑名市」が最も多く、次いで「東員駅」、「サンシパーク」、「名古屋市」、「役場」が多くなっています。

町のほぼ中心に位置する主要施設であるにもかかわらず、「東員駅」や「役場」に行くのに困るという意見が多くなっていることは課題であると考えられます。

図 行くときに困る行き先



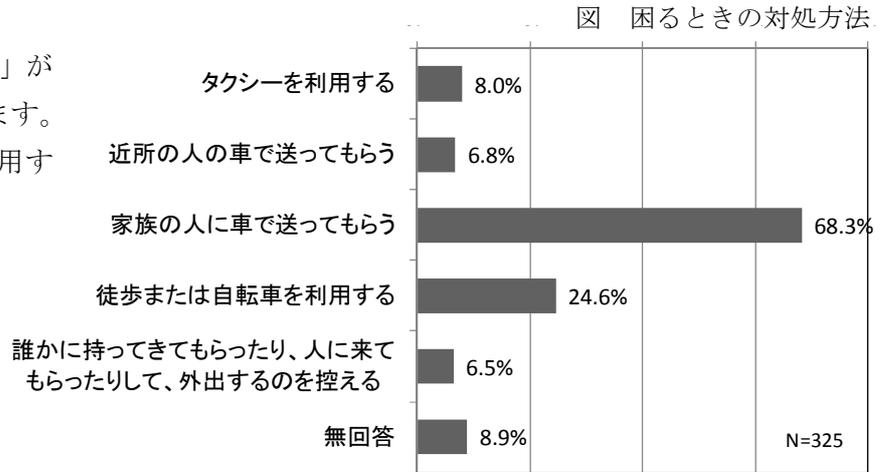
地区別にみると、神田地区、稲部地区は「東員駅」、三和地区と笹尾西地区は「病院」、笹尾東地区は「スーパー」、「役場」、「総合文化センター」、城山地区は「役場」、「スーパー」が他地区よりもニーズが高くなっています。

図 行くときに困る行き先(地区別)

	鉄道駅			公共施設				病院					商業店舗				町外					無回答	総数			
	東員駅	穴太駅	北勢中央公園口駅	役場	総合文化センター	中部公園	笹尾連絡所	その他の公共施設	東員病院	いなべ整形外科	杉山整形外科	やまだ胃腸科内科	大長歯科	その他の病院	カネスエ	ピアゴ	一号館ラッキー	サンシパーク	その他の店舗	桑名市	いなべ市			四日市市	名古屋市	その他市町
全体	27.4%	9.2%	4.3%	18.8%	13.5%	2.8%	1.5%	2.8%	0.9%	5.5%	7.7%	3.7%	0.6%	13.2%	12.9%	14.2%	4.0%	24.3%	3.1%	28.6%	7.7%	9.5%	20.6%	4.0%	9.2%	325
神田	29.6%	12.7%	2.8%	7.0%	5.6%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	1.4%	4.2%	5.6%	0.0%	11.3%	9.9%	8.5%	0.0%	16.9%	1.4%	29.6%	7.0%	9.9%	26.8%	8.5%	9.9%	71
稲部	55.2%	3.4%	3.4%	13.8%	13.8%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	6.9%	10.3%	13.8%	10.3%	13.8%	0.0%	27.6%	6.9%	10.3%	10.3%	0.0%	13.8%	29
三和	20.4%	20.4%	8.2%	16.3%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	8.2%	8.2%	12.2%	4.1%	10.2%	6.1%	16.3%	4.1%	18.4%	0.0%	22.4%	8.2%	14.3%	14.3%	2.0%	8.2%	49
笹尾西	25.4%	0.0%	8.5%	18.6%	15.3%	1.7%	0.0%	1.7%	3.4%	6.8%	3.4%	1.7%	0.0%	20.3%	18.6%	15.3%	1.7%	23.7%	0.0%	28.8%	8.5%	3.4%	15.3%	3.4%	15.3%	59
笹尾東	28.6%	3.6%	1.8%	23.2%	23.2%	5.4%	0.0%	1.8%	0.0%	7.1%	14.3%	1.8%	0.0%	10.7%	12.5%	17.9%	7.1%	33.9%	7.1%	32.1%	10.7%	12.5%	23.2%	5.4%	5.4%	56
城山	17.9%	12.5%	1.8%	32.1%	17.9%	1.8%	7.1%	1.8%	0.0%	3.6%	8.9%	0.0%	0.0%	14.3%	17.9%	12.5%	3.6%	32.1%	8.9%	30.4%	0.0%	7.1%	25.0%	1.8%	3.6%	56

問3. 付問(2) 問3で「困ることがよくある」、「困ることがたまにある」と回答された方にお聞きします。
 困るときには、どのようにしていますか。 <複数回答>

「家族の人に車で送ってもらう」が最も多く、65%以上を占めています。次いで「徒歩または自転車を利用する」が多くなっています。



町内を運行しているバスの利用状況について

問4. あなたの家の最寄りの路線バス、オレンジバスのバス停がどこにあるかご存じですか。

「知っている」が多くなっていますが、「知らない」との回答も15%以上存在します。

地区別にみると、神田地区、稲部地区において「知らない」が多くなっています。

図 最寄りのバス停の認知度

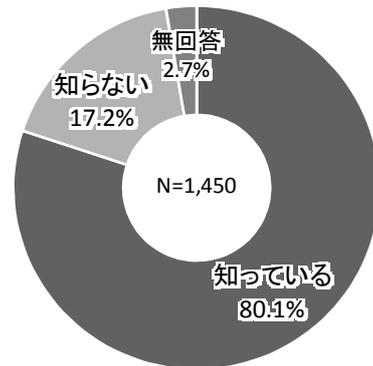
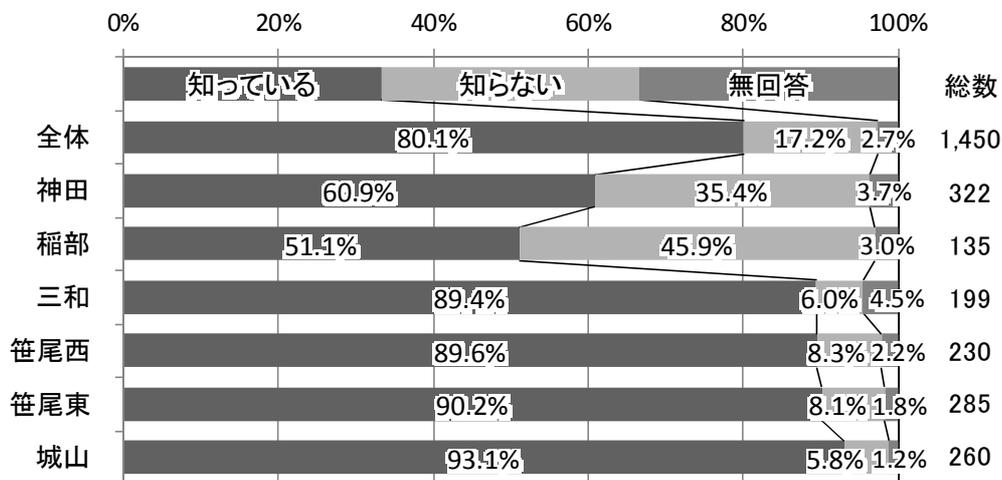


図 最寄りのバス停の認知度(地区別)



問5. 路線バスあるいはオレンジバスをどの程度利用していますか。

「乗らない」が最も多く、70%以上を占めています。次いで「何カ月かに1日程度」、「1ヶ月に1日か2日程度」が多くなっています。

頻度にかかわらず、バスを利用している人は約25%、月1回以上利用している人は約14%です。

地区別にみると、バスの利便性が高い笹尾西、笹尾東、城山地区においては、30~40%の人がバスを利用していますが、バスのない神田、稲部地区では10%未満と少なくなっています。

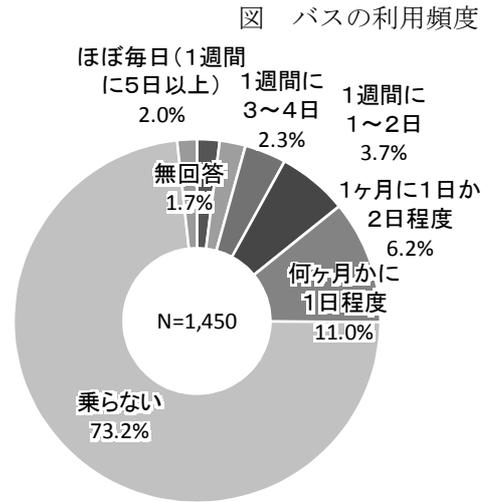
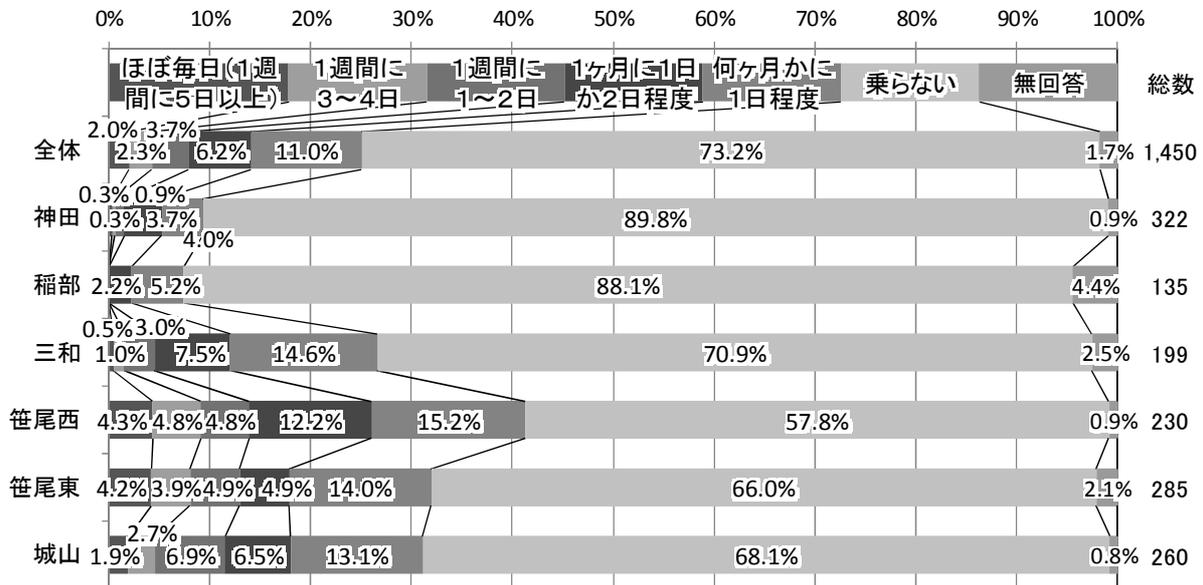
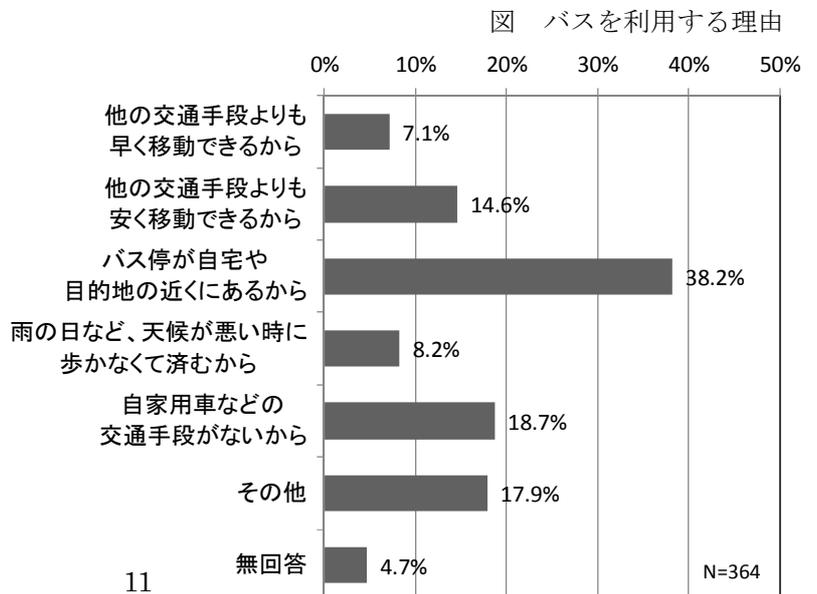


図 バスの利用頻度 (地区別)



問5. 付問(1) 問5で『利用している頻度』を回答された方にお聞きします。
バスを利用する理由はなんですか。〈複数回答〉

「バス停が自宅や目的地の近くにあるから」が最も多く、次いで「自家用車などの交通手段がないから」、「他の交通手段よりも早く移動できるから」が多くなっています。

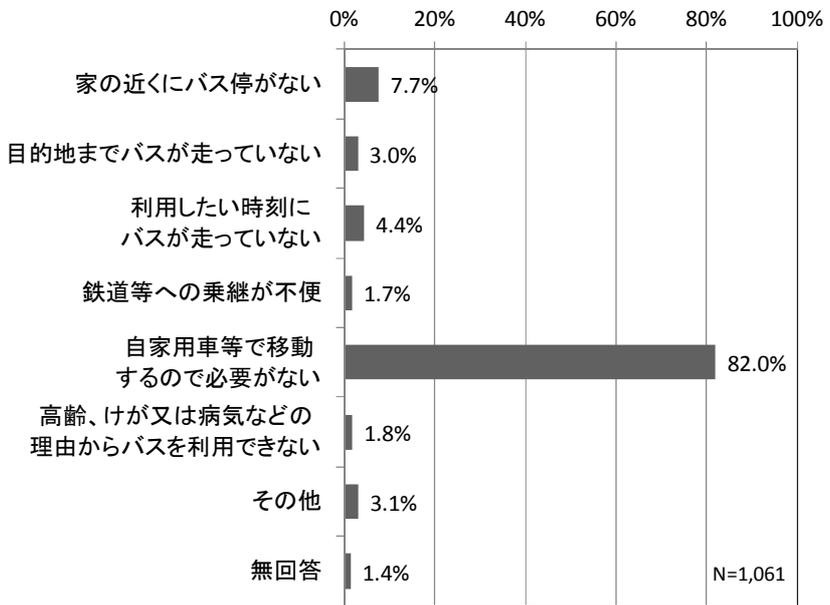


問5. 付問（2） 問5で「乗らない」と回答された方にお聞きします。
 バスを利用しない理由はなんですか。 〈複数回答〉

「自家用車等で移動するので必要がない」が最も多く、80%以上を占めています。次いで「家の近くにバス停がない」が多くなっています。

バスが不便なことを利用しない理由としている人を合わせると、16.8%となっています。

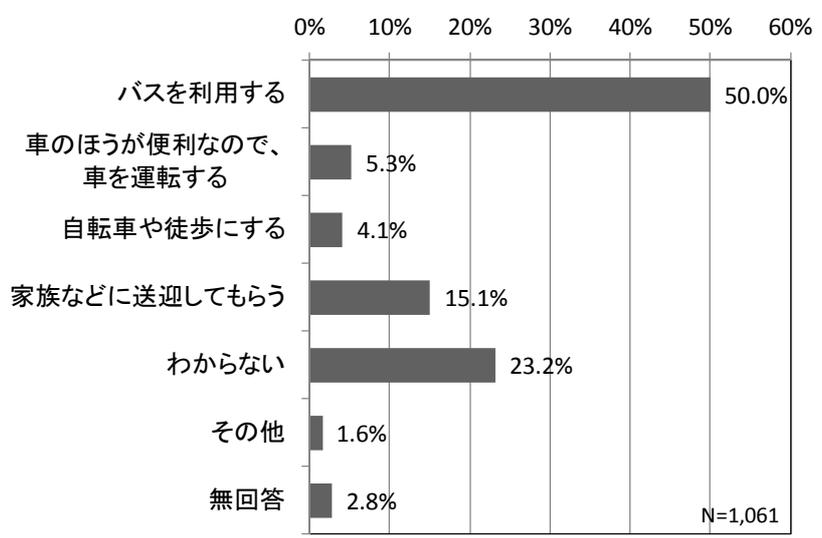
図 利用しない理由



問5. 付問（3） 問5で「乗らない」と回答された方にお聞きします。
 将来、高齢あるいは健康上の理由等で運転に不安を感じるようになった場合、バスを利用しますか。 〈複数回答〉

「バスを利用する」が最も多く、50%を占めています。次いで「わからない」、「家族などに送迎してもらおう」が多くなっています。

図 将来のバスの利用意向



オレンジバスの継続について

問6. 今後、高齢化が増々進展し、公共交通に頼らざるを得ない人が増えると予想されるため、オレンジバスを継続して運行する必要があると考えておりますが、そのように思いますか。

今後、高齢化が増々進展し、公共交通に頼らざるを得ない人が増えると予想されるため、「継続して運行すべき」が約 52%を占めています。次いで「どちらかといえば継続して運行すべき」が多く、継続すべきという人を合わせると、約 81%となっています。

バスの利用頻度（問5）について、頻度にかかわらず利用している人を「乗る」として、バスの利用別にみると、乗る人の約 92%が継続すべきと回答しており、乗らない人でも約 78%が継続すべきとしています。

図 オレンジバスの継続について

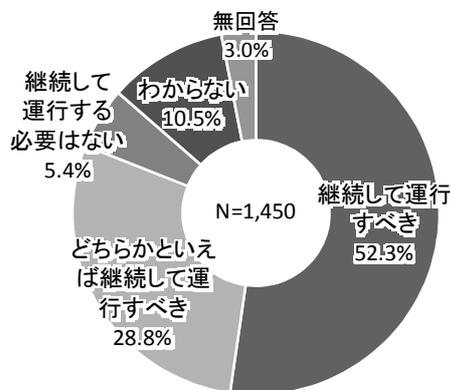
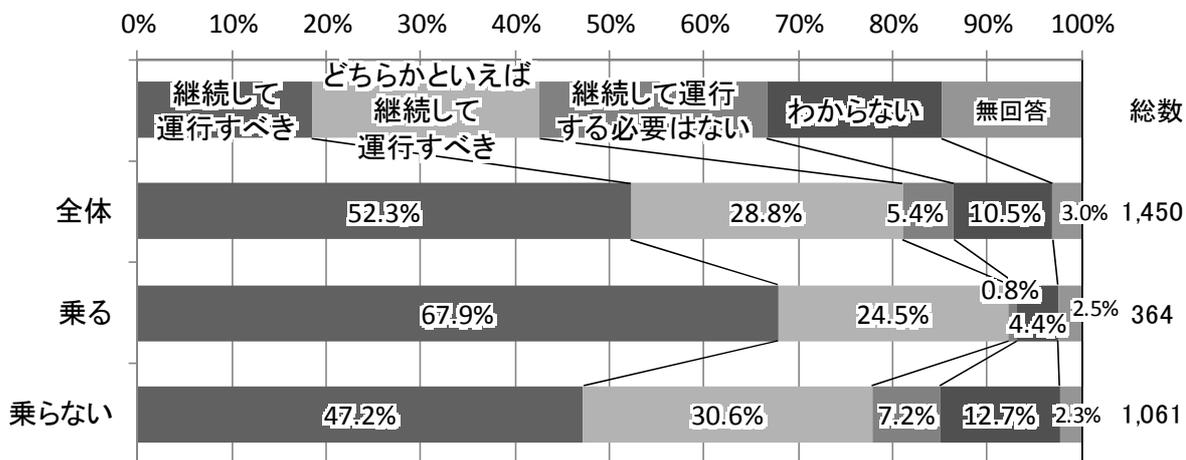


図 オレンジバスの継続について（利用別）

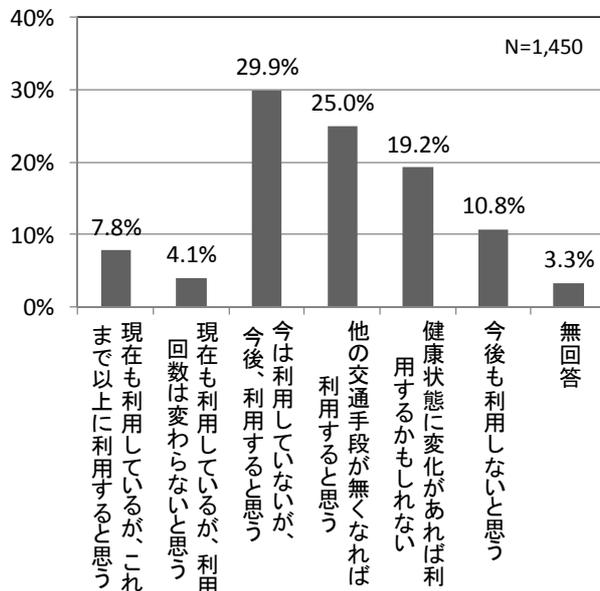


問7. オレンジバスの運行本数などのサービスを充実したり、オレンジバスが走っていない地域に運行するなど、今よりも便利になった場合、利用しますか。

現在利用している人は約 12%ですが、約 8%の人はこれまで以上に利用すると回答されています。現在利用していない人は約 85%ですが、今後利用する人が約 30%あり、合わせて約 42%が利用増の意向を示しています。

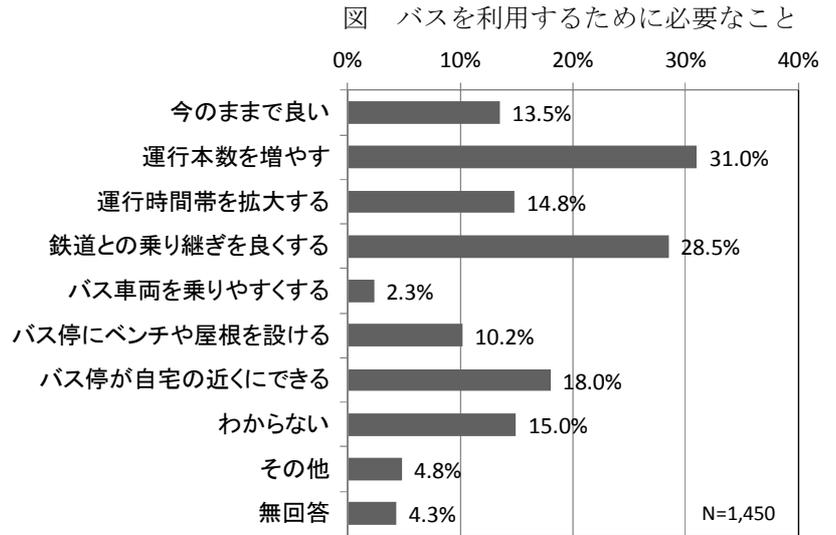
また、条件によって利用可能性がある人と回答している人を含めると約 86%になっており、サービス向上による利用増が期待されます。

図 オレンジバスが便利になった場合の利用意向



問8. バスを利用するには何が必要ですか。 〈複数回答（2つまで）〉

「運行本数を増やす」が最も多く、次いで「鉄道との乗り継ぎを良くする」、「バス停が自宅の近くにできる」が多くなっています。



地区別にみると、神田、稲部地区ではバスが運行していない地域が多いことから「バス停が自宅の近くにできる」、三和地区では「鉄道との乗り継ぎをよくする」、笹尾西、笹尾東、城山地区では「運行本数を増やす」が最も多くなっています。

図 バスを利用するために必要なこと（地区別）

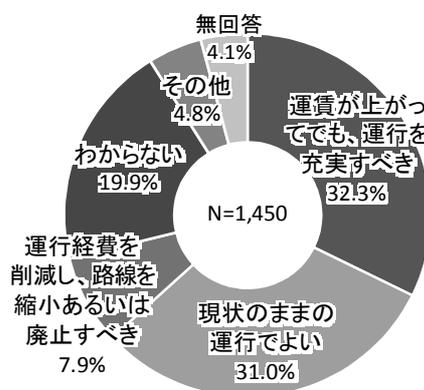
	今のままで良い	運行本数を増やす	運行時間帯を拡大する	鉄道との乗り継ぎを良くする	バス車両を乗りやすくする	バス停にベンチや屋根を設ける	バス停が自宅の近くにできる	わからない	その他	無回答	総数
全体	13.5%	31.0%	14.8%	28.5%	2.3%	10.2%	18.0%	15.0%	4.8%	4.3%	1,450
神田	9.3%	20.5%	8.4%	28.9%	1.2%	9.0%	34.8%	18.0%	5.9%	5.6%	322
稲部	9.6%	16.3%	3.7%	25.2%	2.2%	8.1%	38.5%	20.0%	5.2%	5.2%	135
三和	15.1%	24.1%	15.1%	34.2%	0.5%	11.1%	20.1%	12.6%	5.5%	5.5%	199
笹尾西	20.0%	38.3%	22.2%	24.8%	2.2%	10.4%	7.8%	11.7%	6.1%	4.8%	230
笹尾東	13.3%	37.2%	15.1%	30.2%	3.2%	11.9%	6.7%	16.8%	4.9%	2.8%	285
城山	14.6%	44.2%	21.9%	27.3%	4.6%	10.0%	7.7%	11.2%	1.5%	0.8%	260

問9. 今後、オレンジバスの路線や運行本数などのサービスを充実しようとすると、運行経費の増加に伴って、運賃や町の税金での費用負担が増えることが予想されますが、このことについてどう思いますか。

図 費用負担の増加について

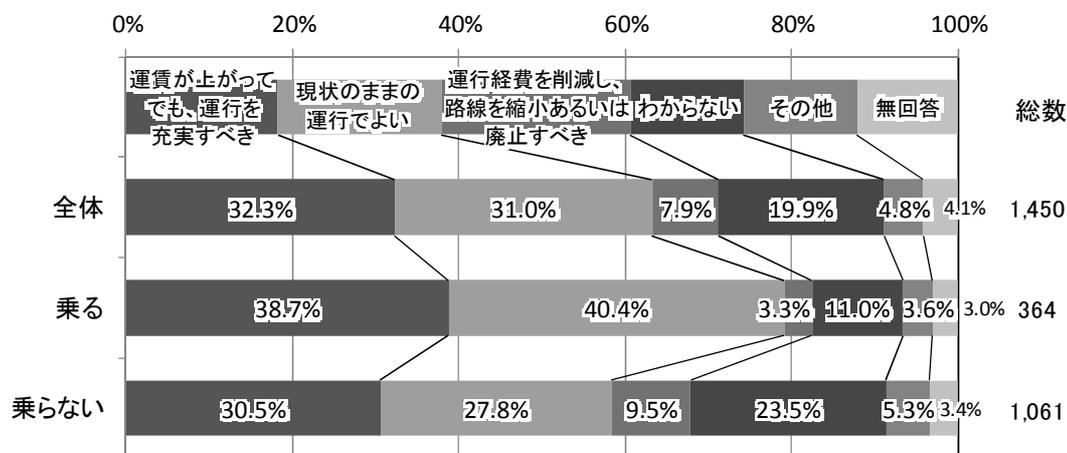
「運賃が上がっても、運行を充実すべき」と「現状のままの運行でよい」が約32%で同数となっています。一方、「運行経費を削減し、路線を縮小あるいは廃止すべし」は約8%と少なくなっています。

現状のまま、あるいはサービス充実が求められているといえます。



バスの利用頻度（問5）について、頻度にかかわらず利用している人を「乗る」として、バスの利用別にみると、乗る人では「現状のまま」が約40%、「サービス充実」は約39%と、上記よりも8ポイントずつ増えています。

図 費用負担の増加について（バスの利用別）



デマンド交通について

問 10. 予約型乗合タクシー（デマンド交通）を、現在オレンジバスが通っていない地域に導入した場合、あなたは利用したいと思いますか。

「利用する」が約7%、「健康状態に変化があれば利用するかもしれない」、「他の交通手段が無くなれば利用する」が約35%、「料金が普通のタクシーよりも安ければ利用する」が約6%となっています。

地区別にみると、稲部、三和地区では、利用する、条件によっては利用する（かもしれない）の回答を合わせると、約54%と多くなっています。

図 デマンド交通の利用意向

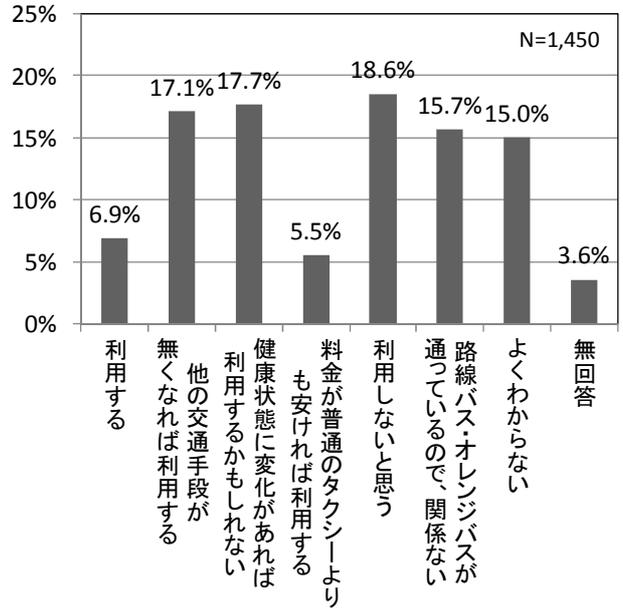
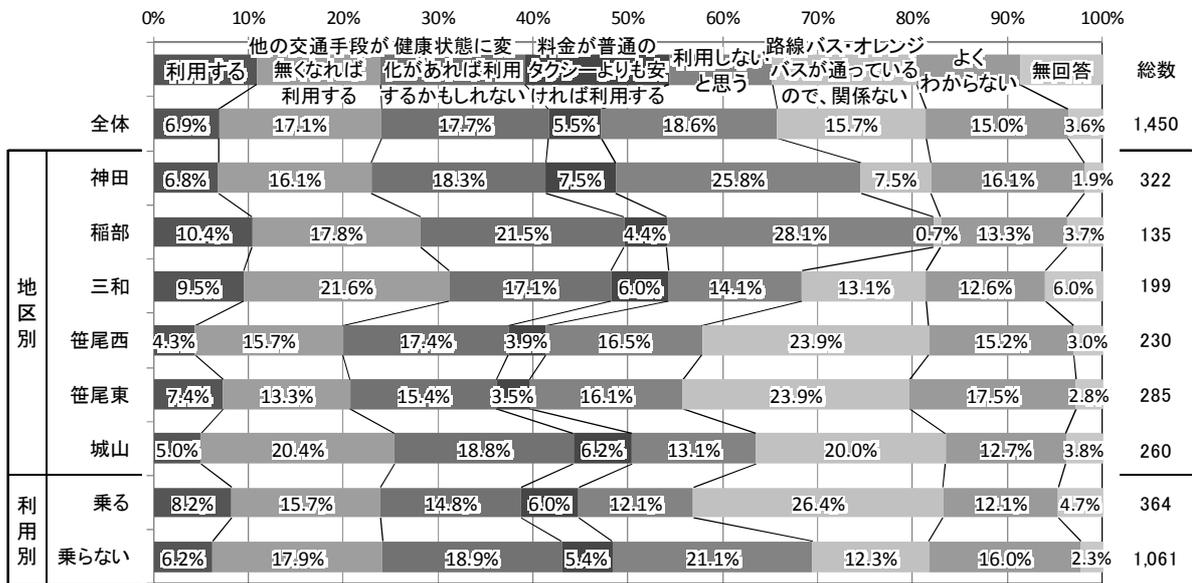


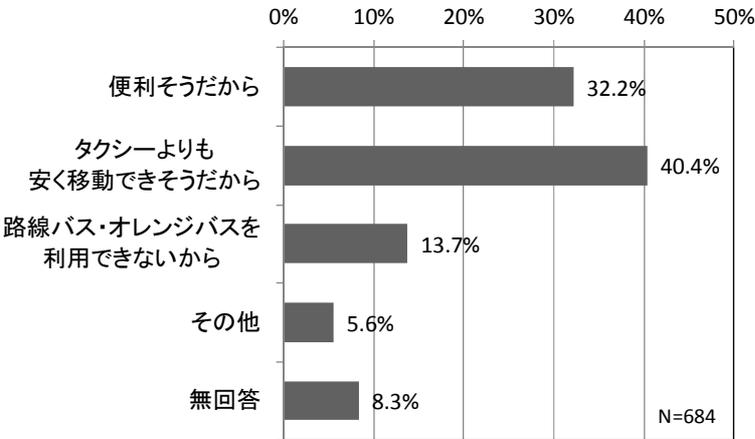
図 デマンド交通の利用意向（地区別、利用別）



問 10. 付問（1） 問 10 で『利用する意向がある』と回答された方にお聞きします。
 利用したい理由はなんですか。 〈複数回答〉

「タクシーよりも安く移動できそうだから」が最も多く、次いで「便利そうだから」が多くなっています。

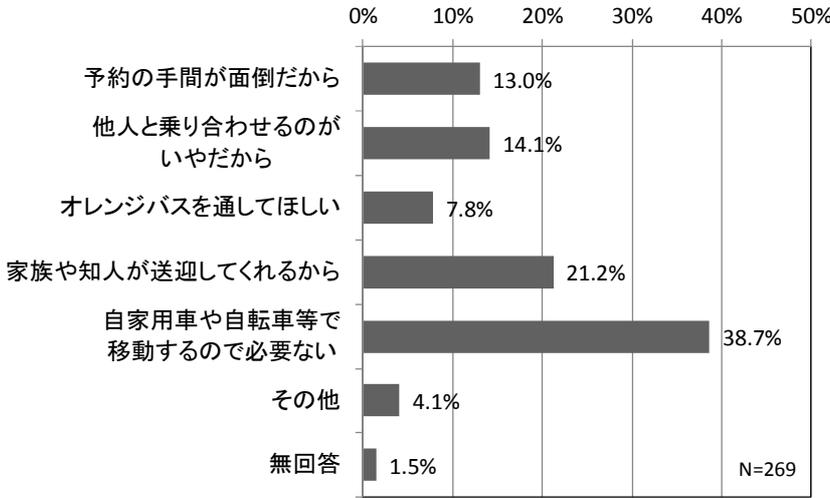
図 デマンド交通を利用したい理由



問 10. 付問（2） 問 10 で「利用しないと思う」と回答された方にお聞きします。
 利用しない理由はなんですか。 〈複数回答〉

「自家用車や自転車等で移動するので必要ない」が最も多く、次いで「家族や知人が送迎してくれるから」が多くなっています。

図 デマンド交通を利用しない理由



自由意見

バスを「継続して運行してほしい」の意見が突出して多く、他に「運賃を高くしてもよい」、「走っていないルートがあり不公平」、「運行本数を増やしてほしい」、「バス停を多くしてほしい」、「デマンド交通を導入希望」の意見が多くなっています。

表 自由意見の分類

	分類	意見の数	小分類	意見の数
運行 サ ー ビ ス	料金(運賃)	43	現状のままでいい(負担を増やしたくない)	2
			必要であれば高くしてもいい	26
			安くしてほしい(料金が安い)	9
			その他	6
	ルート	72	色々と廻りすぎる(1つの路線で時間がかかるので短くしてほしい)	18
			南北、東部線の乗り継ぎなしで町内どこへでも行ける路線を希望	9
			走っていない地区があって不公平(延長、路線数を増やしてほしい)	36
			一区間を調節(廃止・長く、短く)をしてほしい	4
			路線間の接続を良くしてほしい	2
			その他	3
	時刻表	41	運行時間帯が短い(早朝、夜遅い時間帯が欲しい)	13
			誰も乗らない時間帯を調節すべき	8
			駅(施設)との連絡が良くない	12
			バス路線間の連絡が良くない	2
			ゆとりのある時刻表(交通渋滞による遅延、停車時間が短い)	6
	本数	51	行事がある時は増やしてほしい	4
			本数を増やしてほしい(本数がすくない)	41
			本数を減らしてみてもどうか(増やさなくてよい)	4
			その他	2
車両	16	リフト・代行バスに補助ステップを付けてほしい	4	
		バスを小型化してみてもどうか(マイクロバスなど)	8	
		その他	4	
バス停	55	バス停の数を多くしてほしい	29	
		設備(バス停に屋根、ベンチ、荷物置き場)を整えて欲しい	11	
		その他(バス停以外で自由に乗り降りできるようにしてほしいなど)	15	
乗務員	16	挨拶しない	2	
		運転手さんが親切	7	
		その他	7	
運行の安全性		10	運行(交通)の安全性等	10
利用の有無	32	一部(高齢者、子供)の人しか利用しないと思う	3	
		利用している、利用してみたい	18	
		不便なので今後利用しない	11	
必要性	191	継続してほしい(廃止しないでほしい)	112	
		高齢や身体が不自由になった場合に主要な移動手段になる	70	
		オレンジバスは必要ない	9	
バスの運営	47	経費が掛かりすぎる、無駄である(経費削減)	19	
		現状維持でよい	10	
		利用者等の費用負担は必要	8	
		その他(経費)	10	
利用向上	47	利用向上に向けてのアイデアや提案	28	
		便利になってほしい	19	
デマンド交通	45	導入を希望	39	
		デマンド交通は必要ない	2	
		その他	4	
その他	63	バス以外の意見	12	
		アンケートに関する意見	22	
		今まで考えた事もない、分からない(現実的に想像しにくい)	29	
合計		729		729